

令和元年度事業者主導型リスクコミュニケーション事業実施結果

【 東京エレクトロン宮城株式会社 】

宮城県環境生活部環境対策課

1 はじめに

化学物質は、私たちが日常生活をおくる上で必要不可欠な存在ですが、一方で、環境中の化学物質が人や動植物に悪影響を及ぼすレベルにならないよう適切な管理や取扱いが行われなければなりません。

事業者による自主的な化学物質の排出削減や適正管理も重要ですが、より合理的に環境リスクを管理し削減するためには、事業者、地域住民、行政が化学物質等に関する情報を共有し、意見交換を通じて意思疎通と相互理解を図る「リスクコミュニケーション」の取組が有効です。

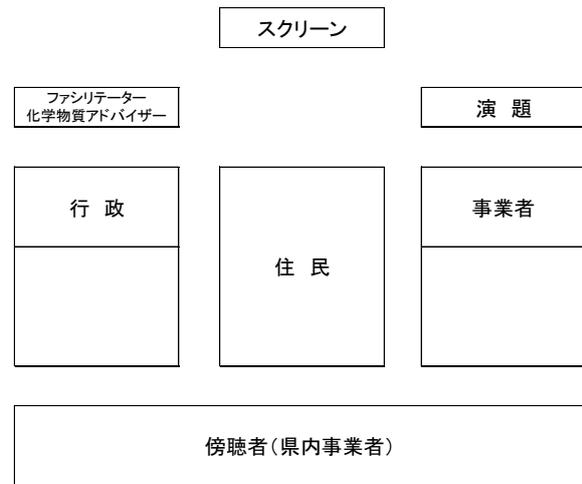
今年度は事業者主導型リスクコミュニケーションとして、東京エレクトロン宮城株式会社で開催しました。

2 開催概要

- (1) 事業者 東京エレクトロン宮城株式会社
所在地：黒川郡大和町テクノヒルズ1番
- (2) 日 時 令和元年10月28日(月)
午後2時から午後4時まで

3 出席者

	合計	55人
(1) 参加者	計	33人
地域住民		22人
事業者		5人
富谷市		1人
大和町		1人
宮城県		2人
化学物質アドバイザー		1人
ファシリテーター		1人
(2) 傍聴者(県内事業者)		22人



<会場設置概略図>

4 プログラム

【司会：ファシリテーター】

- | | |
|----------------------|------------------|
| (1) 開催挨拶 | (東京エレクトロン宮城株式会社) |
| (2) リスクコミュニケーション事業説明 | (宮城県) |
| (3) 化学物質に関するセミナー | (化学物質アドバイザー) |
| (4) 企業紹介・環境への取り組み等 | (東京エレクトロン宮城株式会社) |
| (5) 工場見学 | (東京エレクトロン宮城株式会社) |
| (6) 意見交換 | (参加者) |
| (7) 閉会 | |

5 意見交換会の概要

地域住民からの質疑応答の概要は、次のとおりでした。

(1) 帰宅時の渋滞緩和【事前アンケート】

[事業者]

従業員には、通勤時の周辺への影響を考え、住宅地内の通行を禁止する措置を講じております。気になるようなことがありましたら、いつでもおっしゃっていただければと思います。

[ファシリテーター]

工業団地においては、どのような地域においても発生する可能性のある問題です。東京エレクトロン側としては対策を講じているということではありますが、他の事業所もありますので、引き続き徹底を図っていただくということでもよろしいのではないのでしょうか。

(2) 業績悪化した場合、新工場建設はあるのか。【事前アンケート】

[ファシリテーター]

業績内容とさらに今後の事業見込みについては、今回の環境分野とはかけ離れている内容ですので、お答えは難しいと考えます。

(3) 御社の環境整備の取り組み方又は考え方について話を聞きたい。【事前アンケート】

[ファシリテーター]

最初の説明及び工場見学において説明した内容に不足がありましたら、この後の意見交換においてお聞きいただきたいと思っております。

(4) この様な説明会は定期的実施しているのでしょうか。【事前アンケート】

[ファシリテーター]

今回は県の事業として実施したものですので、今後開催希望等がある場合には、東京エレクトロン様、今回の主催である県又は居住市町にお申し出いただきたいと思っております。

(5) これまで火災発生はあったか。

[事業者]

火災の発生はありませんでした。

(6) 化学物質というと危険物（1類から6類）と混同してしまうが、許可物質（モノシラン、ホスフィン）の扱いはあるか。

[事業者]

危険物としては軽油(4類)、エタノールがあり、特定高圧ガスとしてはモノシラン（ボンベ1本）等の取扱いがあります。ボンベ等の扱いについては、高圧ガス保安法に基づき適切な取扱いを行っております。

(7) 防災訓練は実施しているか。

[事業者]

明日総合防災訓練を実施します。また、クリーンルームからの避難訓練は3カ月に1回実施しております。なお、化学物質が漏洩や火災が発生したことはありません。

(8) 化学物質が漏れや火災が発生した場合、住民への周知はありますか。

[事業者]

担当部署の者がおりませんので、この場での回答は控えさせていただきたいと思っております。

[化学物質アドバイザー]

環境コミュニケーション事業開催前に取扱う化学物質の確認を行いました。取扱量は少なく、管理が適切に行われていることを確認しております。

(9) 工場のリスクコミュニケーションということで、趣旨と合っているかどうかかわからないが伺いたい。大和リサーチパークの造成予定地の隣接地に当たる団地にいる。こちらの土地が急傾斜地で土砂崩れの危険性があるとしてハザードマップにて指定されることとなっている。工場と残存地の傾斜がとんがり山のようなため、今回の台風のように

な大雨があると心配である。

[ファシリテーター]

今後の土地利用については、今回の化学物質に関するコミュニケーション内容とは異なりますし、担当部署も異なります。造成予定等に関しては、今後県においても時期を見ながら説明会等を開催する可能性もありますので、そちらで確実なお話を聞いていただきたいと思います。

(10) 呼吸補助装置が廊下に整備されていたが、どのような用途のものか。

[事業者]

ガスの漏洩があった場合や、密閉空間であるため内部で酸素が不足したような場合を想定して準備しております。原則としてガスの漏洩があった際には、従業員は外に全員避難することとしておりますが、中に傷病者が残ったりした際や、内部での作業が必要になった際にも用いる可能性があります。

(11) 有毒ガスが発生する可能性があるということか。

[事業者]

労働安全衛生法の観点で危険なものの取扱いがないわけではありません。漏洩した場合は、換気装置を通して除害し放出します。また、取扱量から大気中に漏洩したとしても問題ないものと考えております。

(12) 従業員に害があるものを取扱っていない工場という認識であったが、実際は想定していなかったようなものがあるということか。

[事業者]

塩素、アンモニア等（背丈くらいのボンベが1，2本）ですが、労働安全衛生法上一日8時間作業した場合に超えてはならないという基準（TLV値）に基づく異常値という意味であり、すぐに健康を害する、影響がある危険なものという種類のものではありません。また、漏洩を感知すると自動でボンベの栓が閉まるようになっているので、それ以上漏れることはありません。

(13) 外気を工場内に取り入れる時の対策はどのようなものか。

[事業者]

事務室は外気と同じですが、クリーンルーム内への取り込みの空気はHEPAフィルターという高性能フィルターを通した上で取り込んでおります。

6 実施の様子



<化学物質アドバイザーによる講演>



<意見交換会>

7 事業者主導型リスクコミュニケーション事業を実施した感想【東京エレクトロン宮城株式会社】

住民の皆さんに会社を紹介する良い機会をいただき、ありがとうございました。

化学物質を切り口とした会でしたが、皆さんのご興味は化学物質に限定されたものではありません。

必ずしもすべてにご回答はできませんでしたが、当社を少しでもご理解いただくことにつながったと思います。

敷地や建屋が広いため、時間的な制約もあり、全体を歩いて見ることはできませんでしたが、「きれいですね」「すごいですね」というお声に内心ほっとさせられたことを覚えています。

今度はもう少し時間をかけて、廃棄物の収集状況やヤギの除草風景などもご覧いただければと考えております。

8 協力

事業の開催に当たっては、化学物質アドバイザー派遣事業事務局の御協力をいただき、化学物質アドバイザー及びファシリテーターの派遣を受けて開催しました。